

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 11 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(木田晃吉)

研修・視察日時	令和 5 年 10 月 12 日、10 月 13 日
研修会場・視察先	八戸公会堂
研修名・視察目的	第25回 全国郡問題会議
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	東京芸工芸長 日比野 克彦 他
参加議員(同行者)	荻部 勉、土方美代、永田健一朗
調査概要	・ 文化芸術やスポーツが生き生きとした都市の魅力を 作り出すテーマを学ぶ機会とあり、単に文化やスポーツを推進するだけでなく、そこには人のつながりが必要であるという点、このことが最も重要で、地域 コミュニティ作りには人のつながりが大切である 文化やスポーツを推進するだけでなく、このことが最も重要で、地域 コミュニティ作りには人のつながりが大切である
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	自治会離れや青年会離れ、又不登校 の増加など、地域コミュニティのあり方が 変わろうとしている。私は、政(まこと)は 祭(まつり)だと思っており、地域の絆を 政の原点だと思っており、地域の絆を 作り出す中で、古くからコミュニティ作りを もう一度復活させたいと感じた。 日本の文化とは本来、祭りから始まる 下だと思う。

視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 8 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(森田 晃吉)



研修・視察日時	令和 5 年 7 月 ²⁷ / ₂₈ 日
研修会場・視察先	石川県輪島市
研修名・視察目的	朝市組合と関係及び財政支援について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	副議長 大宮 正 産業部長 永井 一成
参加議員(同行者)	利部 勉 永田 健一 朗
調査概要	① 運営母体(朝市組合)との関係について ② 地域住民との合意形成や 定期的な交流開催等にある課題 ③ PR ④ 観光客の増減等
市政の課題等に対し どのように参考になるか 所感等	組合自体がのぞく組合12家129協力(高齢金や道路等) は以前に比べ地味な環境であった。しかし実際は組合員数 の減少と利用客の減少が今後の運営とどう向き合える 時期にきていると感じられた。特に輪島漁りや海産物 の主要な産地朝市としては下降しているが 代わりの食の市場としては依然として成長している。 小市があるとはなっているが、もっと広い面積で 交流の便を与える突破にしたいと感じた。

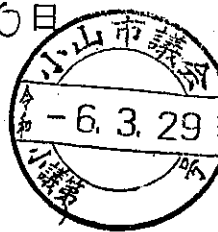
視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 8 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(森田 晃吾)



研修・視察日時	令和 5 年 7 月 27 日
研修会場・視察先	石川県輪島市
研修名・視察目的	朝市組合の実際の運営について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	組合長 高永 長教 理事 中道 肇 副組合長 長島 孝子
参加議員(同行者)	荻部 勉 永田 便一朗
調査概要	・ 組合の現状と課題 ・ 市との連携について ・ 新規会員について ・ 観光と12の朝市、生活と12の朝市について
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	朝市が生かすのにはやはり時代背景がある。昭和の一部と12の 買物の場、山の朝、海の朝の物を並べた場というものが ある。近年のスーパーの発達により衰退している。今ある ものの需要はあまりない。小山市におきかれば、農業の発展 のため毎日開業できればイメージは良いが、やはり限ら れなくとも、季節は国産野菜スペースを利便し、地域の 農産物の売場はできると感じた。輪島朝市は観光の要素 があることから、観光人情の要素と12の朝市が融合して 小山市でもできる。人情的な雰囲気と朝市が融合して いいと感じた。

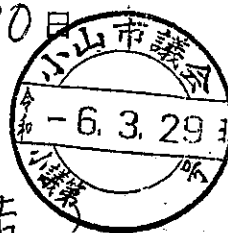
視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 8 月 30 日

下記のとおり報告いたします。

小山市議会議員 篠崎 佳之 様

議員氏名(木田 勇吉)



研修・視察日時	令和 5 年 7 月 26 日
研修会場・視察先	石川県小松市
研修名・視察目的	1) 災証明書迅速化について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	小松市副市長 東浩一 秘書課長 倉一正、林久雄
参加議員(同行者)	木田 勇吉 永田 健一郎
調査概要	1) 災証明書迅速化ソリューションについて ① 日数短縮と職員の業務量 近隣市町村との 連携について ② 県のシステムとの関係について ③ 市民の反応について その他、令和4年8月小松市で豪雨災害に発生した 実際の状況と復興の状況とを聞き取った。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	迅速化ソリューション事業を進める上で大助かりな活用する職員の 研修や近隣市町村の連携が大切だと感じた。 世帯も徐々に被災状況が落ち着く中、調査判定方法 が定まるシステムでは調査する側が非常に良くな る。迅速化につながる。 小松市において特に、この年で水害が起きてい る中で早くにこうしたシステムを導入できると 嬉しい。

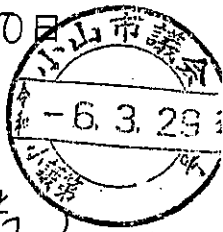
視察調査・研修会等報告書

令和 5 年 2 月 30 日

下記のとおりに報告いたします。

小山市議会議長 篠崎 佳之 様

議員氏名(森田 晃吉)



研修・視察日時	令和 5 年 7 月 25 日
研修会場・視察先	岐阜県 関・原町
研修名・視察目的	歴史的財産の周知、県・国との協力について
応対者(説明者)の 役職・氏名等 ※視察調査のみ記載	関原町地域振興課課長 難波真哉 " 教育課長 山田 勝 " 議長 谷口 輝男
参加議員(同行者)	刈部 勉 永田 健一郎
調査概要	小の評定をほめてある歴史的財産は代々継がれていなくて、 今までの関原町が周知の町だと、県・国との関係の中で変わって いく。関原町では特に県との協力関係が強く、展示施設は 県費でまわっている。大スクリーンでの合戦上映は左巻 とある。天下分け目の戦いであるが、全国的な注目がある うなところ。関原町は、戦い、関原の合戦、全国的 の市・町とつながり、戦いとつながり、その点、小の 評定を関原にしているから、今後、関原町を 築けるか、模範、よいと思いました。 関原町は、あつた合戦があつたといふ土地 であるため、各武将の陣跡は残っているが、 主として建物が残っているわけではない。 今までの評定を小の評定を行った東軍の陣跡に 各武将の名を明記する必要がある、と思った。 当時の歴史的事実も重要だが、関原町と 協力して、人々との物語、遠くから訪れて 現代でいうところの聖地となれるように と思った。
市政の課題等に対し どのように参考になるか、 所感等	